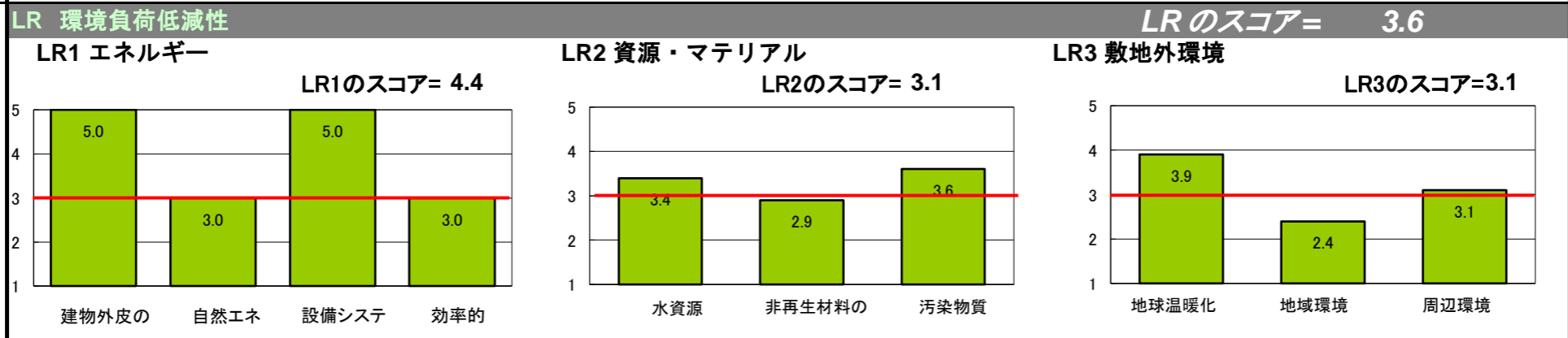
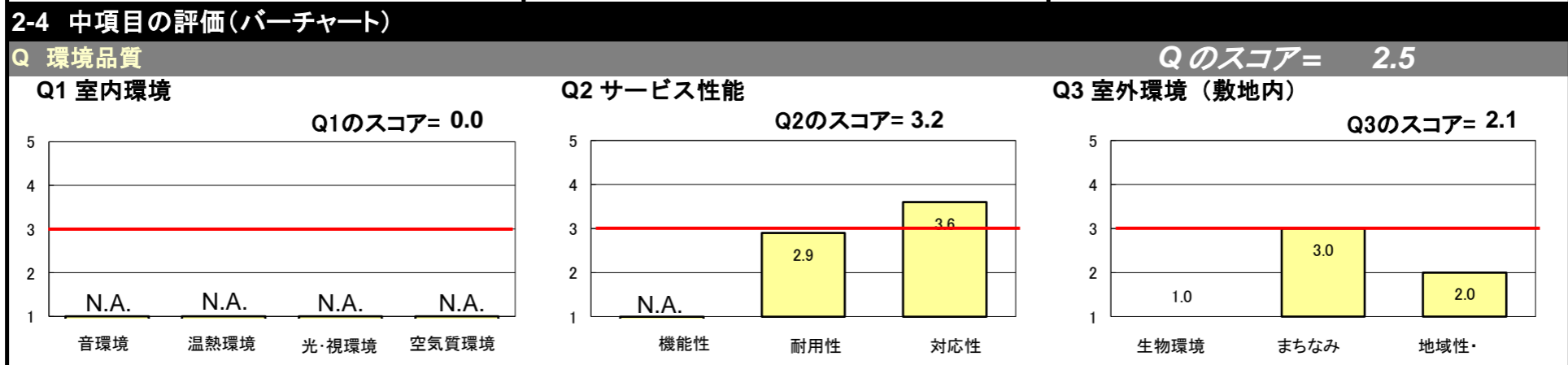
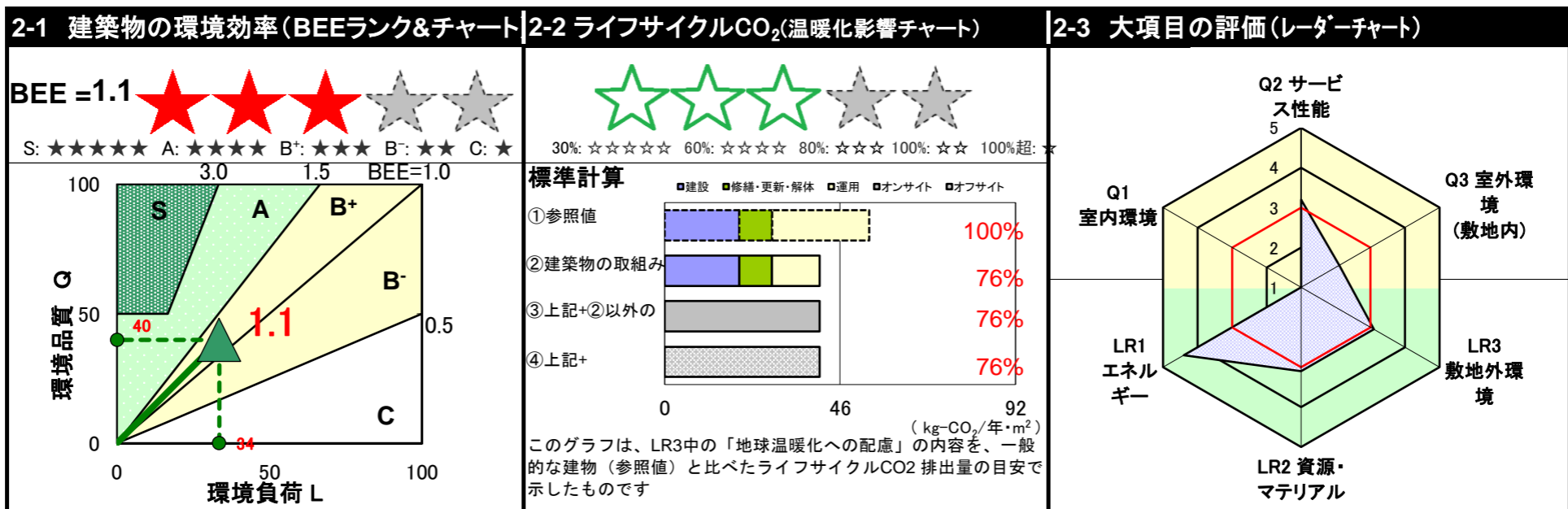


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)和東運輸株式会社大口物流センター	階数	地上2階
建設地	愛知県丹羽郡大口町中小口三丁目464番地 他13筆	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	20人
気候区分	6地域	年間使用時間	4,000時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2021年8月 予定	評価の実施日	2020年10月6日
敷地面積	9,436 m <sup>2</sup>	作成者	藤川 貴史
建築面積	5,236 m <sup>2</sup>	確認日	2020年10月6日
延床面積	10,426 m <sup>2</sup>	確認者	岩見 実



3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>3.9</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>12.1 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>3.1</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部						住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄				評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数	
		<b>Q 建築物の環境品質</b>										
<b>Q1 室内環境</b>												-
<b>1 音環境</b>												-
1.1	室内騒音レベル				3.0	-	-	-	-	-	-	
1.2	遮音				-	-	-	-	-	-		
1	開口部遮音性能				-	-	-	-	-	-		
2	界壁遮音性能				-	-	-	-	-	-		
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	-	-		
4	界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	-	-		
1.3	吸音				-	-	-	-	-	-		
<b>2 温熱環境</b>												-
2.1	室温制御				-	-	-	-	-	-		
1	室温				3.0	-	-	-	-	-		
2	外皮性能				3.0	-	-	-	-	-		
3	ゾーン別制御性				3.0	-	-	-	-	-		
2.2	湿度制御				3.0	-	-	-	-	-		
2.3	空調方式				3.0	-	-	-	-	-		
<b>3 光・視環境</b>												-
3.1	昼光利用				-	-	-	-	-	-		
1	昼光率				3.0	-	-	-	-	-		
2	方位別開口				-	-	-	-	-	-		
3	昼光利用設備				3.0	-	-	-	-	-		
3.2	グレア対策				-	-	-	-	-	-		
1	昼光制御				5.0	-	-	-	-	-		
3.3	照度				3.0	-	-	-	-	-		
3.4	照明制御				3.0	-	-	-	-	-		
<b>4 空気質環境</b>												-
4.1	発生源対策				-	-	-	-	-	-		
1	化学汚染物質				3.0	-	-	-	-	-		
4.2	換気				-	-	-	-	-	-		
1	換気量				3.0	-	-	-	-	-		
2	自然換気性能				3.0	-	-	-	-	-		
3	取り入れ外気への配慮				3.0	-	-	3.0	-	-		
4.3	運用管理				-	-	-	-	-	-		
1	CO <sub>2</sub> の監視				3.0	-	-	-	-	-		
2	喫煙の制御				3.0	-	-	-	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>												<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>												-
1.1	機能性・使いやすさ				-	-	-	-	-	-		
1	広さ・収納性				3.0	-	-	-	-	-		
2	高度情報通信設備対応				3.0	-	-	-	-	-		
3	バリアフリー計画			独自	3.0	-	-	-	-	-		
1.2	心理性・快適性				-	-	-	-	-	-		
1	広さ感・景観 (天井高)				3.0	-	-	-	-	-		
2	リフレッシュスペース				3.0	-	-	-	-	-		
3	内装計画				3.0	-	-	-	-	-		
1.3	維持管理				-	-	-	-	-	-		
1	維持管理に配慮した設計				3.0	-	-	-	-	-		
2	維持管理用機能の確保				-	-	-	-	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>												<b>2.9</b>
2.1	耐震・免震・制震・制振				0.5	2.9	0.52	-	-	-		
1	耐震性(建物のこわれにくさ)				0.4	3.0	0.48	-	-	-		
2	免震・制震・制振性能				3.0	3.0	0.80	-	-	-		
2.2	部品・部材の耐用年数				0.3	3.0	0.33	-	-	-		
1	躯体材料の耐用年数				-	3.0	0.23	-	-	-		
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔			②	-	3.0	0.23	-	-	-		
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔				-	3.0	0.09	-	-	-		
4	空調換気ダクトの更新必要間隔				-	3.0	0.08	-	-	-		
5	空調・給排水配管の更新必要間隔				-	3.0	0.15	-	-	-		
6	主要設備機器の更新必要間隔				-	3.0	0.23	-	-	-		
2.4	信頼性				0.1	2.6	0.19	-	-	-		
1	空調・換気設備				3.0	3.0	0.20	-	-	-		
2	給排水・衛生設備				3.0	2.0	0.20	-	-	-		
3	電気設備				3.0	3.0	0.20	-	-	-		
4	機械・配管支持方法			②	3.0	3.0	0.20	-	-	-		
5	通信・情報設備				3.0	2.0	0.20	-	-	-		

3 対応性・更新性			0.4	3.6	0.48	-	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			0.3	5.0	0.31	-	-	-	
1	階高のゆとり	階高:6.10m	-	5.0	0.60	-	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		壁長さ比率:0.028	3.0	5.0	0.40	-	3.0	
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	0.31	-	-	-	
3.3 設備の更新性			0.3	3.0	0.38	-	-	-	
1	空調配管の更新性	②	-	3.0	0.17	-	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	3.0	0.17	-	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	3.0	0.11	-	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	3.0	0.11	-	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	-	0.57	-	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出		独自③	-	1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④	-	3.0	0.40	-	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	2.0	0.30	-	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④	-	2.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			-	2.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	-	0.40	-	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPIm:0.64	3.0	5.0	0.20	-	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	3.0	0.10	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm:0.49	3.0	5.0	0.50	-	-	-	5.0
4 効率的運用			0.2	3.0	0.20	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			1.0	3.0	1.00	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	3.0	0.50	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	3.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	3.0	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	3.0	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	-	0.30	-	-	-	3.1
1 水資源保護			0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1 節水		節水器具、自動水栓を使用	3.0	4.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			0.6	3.0	0.60	-	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	3.0	0.67	-	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			0.6	2.9	0.63	-	-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減		② 独自 吸音板(ソーラトン)	-	2.0	0.07	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.24	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	3.0	0.20	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	3.0	0.05	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	3.0	0.24	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			0.2	3.6	0.22	-	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	3.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			0.6	4.0	0.68	-	-	-	
1	消火剤	発泡系は使用しない	-	-	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		-	5.0	0.50	-	-	-	
3	冷媒		3.0	3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	-	0.30	-	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		①	換算スコア:3.9	-	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			0.3	2.4	0.33	-	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止			-	3.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			-	2.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			0.2	2.7	0.25	-	-	-	
1	雨水排水負荷低減	独自	-	3.0	0.25	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	独自	-	3.0	0.25	-	-	-	
3	交通負荷抑制	独自	-	4.0	0.25	-	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		-	1.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮			0.3	3.1	0.33	-	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1	騒音	独自	-	3.0	1.00	-	-	-	
2	振動	独自	-	-	-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			0.4	3.3	0.40	-	-	-	
1	風害の抑制		-	3.0	0.70	-	-	-	
2	砂塵の抑制		-	3.0	-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		-	4.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制			0.2	3.0	0.20	-	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		-	3.0	0.70	-	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	3.0	0.30	-	-	-	

**重点項目スコアシート**

実施設計段階

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

(仮称)和東運輸株式会社大口物流センター

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

重点項目(配慮項目)	評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>			<b>3.9</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.9	0.10
<b>② 資源の有効活用</b>			<b>3.1</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.22
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.21
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.9	0.19
<b>③ 敷地内の緑化</b>			<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17
			外構緑化: 12.1%/建物緑化: 0%
<b>④ 地域材の活用</b>		(評価ポイント)	<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-
			なし
			なし

■重点項目スコア算出式  
各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化  
重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和  
重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用  
重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)和東運輸株式会社大口物流センター

計画上の配慮事項	
総合	高効率化を積極的に行い、建築物の環境負荷低減を図った。 倉庫として空間にゆとりをもたせた。 物流センターであるため大型車と普通車の出入りが交差しないように配慮した。
Q1 室内環境	評価対象外
Q2 サービス性能	将来の変化に対応できるよう空間にゆとりをもたせた。
Q3 室外環境(敷地内)	敷地周囲にフェンスを設け防犯に配慮した。
LR1 エネルギー	高効率な照明器具を採用し、省エネルギー化を図った。
LR2 資源・マテリアル	水資源確保のため、節水型設備を積極的に使用した。 フロン・ハロンの流出をなくすため、発泡系断熱材は使用しない。
LR3 敷地外環境	建築物の配置を考慮して周辺地域への日照の阻害を抑制した。
その他	